

夢さぼ人 マイドリーム

歌原 大悟さん(21)

＝小樽商大3年

4月に友人と小さな会社をつくった。商大生力を地元で生かす試みだ。「いずれは市民と市民をつないで小樽を元気にするまちづくり会社に育てたい」と夢を描く。

きっかけは、1年生のときに受講した同大の地域連携型授業「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト」(通

会社設立「小樽を元気に」

称マジプロ)だ。調査で友人と市内の市場に2カ月通い、店の人などから要望を聞いて歩いた。やがて顔見知りも増え、「頑張ってね」と飲み物や弁当の差し入れが相次いだ。砂川生まれ札幌育ちの歌原さんには、小樽の人の心遣いが身に染みた。

考え出したのは「商大生レンタル」。学生が出向いて芝刈りやパソコン操作の指導などこまごまとした用事をこなす。授業は昨年3月に終わったが、お年寄りらに好評

だったため有志で1年間活動。そして合同会社「PoRtaru(ポータル)」を設立した。会社にしたのは「信頼されて活動も長続きする」と考えたからで、合同会社は株式会社より諸手続きが簡便だった。

メンバーは8人。市民と登録した商大生を有償でつなぐ。本格的な活動はこれからになるが、「将来は幅広い世代の人たちが持てる力を少しずつ提供しあえる形にできれば」と、夢を広げている。(青山実)



「小樽に新しい風を起したい」と語る歌原さん(大石祐希撮影)